

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月日実施)	総合評価(月日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の多様性(ダイバーシティ)を尊重し、個性や能力を伸ばす教育課程を編成する。 ○生徒一人ひとりの学習や進路等の目標を実現させる。 ○生徒の主体的な学習を充実させ、学力を育成する。 ○授業改善の取り組みを充実させる。 ○高大の接続を意識した高大連携を模索し、新テストに対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎基本から発展的内容まで、多様性を尊重した教育課程を編成する。 ○自学自習を重視した学習指導により、希望進路の実現に向けて学力向上を図る。 ○組織的な研修・研究を通して、授業力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)基礎基本から発展的内容まで、進路指導と連携した教育課程の整備と検証を行う。 (2)「朝学習」「週末課題」「スタディージョギング」(試験前の放課後学習)などの実施を通じて、自学自習の習慣を身につけさせる。また、「緑の風」(学務通信)を通じて、学習方法や大学受験等に関する情報提供を積極的に行う。 (3)夏期講習や補習を通して、苦手科目の克服や得意科目の学力向上を図る。 (4)教科間連携や授業改善に係る校内研修を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)生徒が進路実現に向けて選択しやすい教育課程の整備と検証ができたか。 (2)「朝学習」「週末課題」「スタディージョギング」、学務通信などによって、学力向上に一定の効果がみられたか。 (3)夏期講習や補習の参加者が増加したか。 (4)教科を超えた研修・研究により、更に工夫された授業が増えたか。 					
2 生徒指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> ○組織的な相談体制を整備する。 ○生徒一人ひとりの個を捉えた支援体制を確立する。 ○グローバル社会を生きる能力の獲得と自立する力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりへのきめ細かな指導を充実させ、より社会性を育む学びを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)組織的な相談・支援体制を充実させ、生徒に寄り添う丁寧な支援をする。 (2)服装・頭髪等の身だしなみ、校内美化や時間を大切にする指導を続け、規範意識を更に高める。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)相談・支援体制を充実し、職員間での情報共有化による組織的対応及び効果的な支援ができたか。 (2)生徒の規範意識をより高められたか。 					
3 進路指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が主体的に進路を選択できるような支援体制の確立。 ○シチズンシップ教育の取り組みを充実させ、生徒が積極的に社会参加するための能力を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○将来を見通した自己のあり方を考え、実現に向けての様々な支援を充実させ、高い志望を実現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)進路指導グループと学年が連携し組織的な面談指導を実施し適切な進路目標の設定とその実現に向けた支援を充実させる。 (2)進路ガイダンスを段階的に実施し、生徒が主体的に進路を選択し決定できる力を育て、質の高い進路実現を図る。 (3)各学年でシチズンシップ教育を実施し、自主的に社会参加しようとする意欲を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)面談指導に積極的に取り組み、進路意識を向上させることができたか。 (2)進路ガイダンスが生徒の進路選択にどう役立ったか。 (3)シチズンシップ教育の効果として社会参加への意欲が高まったか。 					
4 地域等との 協働	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティ・スクールを活用し、地域との協働を図り、生徒の生きる力を育む。 ○地域貢献活動やボランティア活動に取り組む意欲や行動力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の教育力を活用し、生徒一人ひとりの地域に貢献しようとする意欲を向上させ、自主的に行動できるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)地域の教育力を活用し「総合的な学習の時間」を中心に表現活動や社会貢献活動を実践する。 (2)委員会や部活動による社会参加活動を活性化させる。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)地域の人材の活用により社会に貢献しようとする生徒が増えたか。 (2)委員会や部活動による社会参加活動が活性化されたか。 					
5 学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ○PDCAサイクルに従い、グループ、学年、教科が教育活動を常に見直し改善する。 ○コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の役割を明確化し、機能的に活用する。 ○学びを支え、安全で安心な教育環境の整備に努めるとともに事故・不祥事防止の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ、学年、教科が常に課題意識をもって積極的に改善に取り組んでいくとともに安全、安心で開かれた学校づくりに取り組む。 ○コミュニティ・スクールの役割と機能を整理し実行力あるものにする。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)課題改善意識をもって教育活動に取り組み、アンケートなどを積極的に活用、分析し、効果や結果の検証を行う。 (2)コミュニティ・スクールの各部会の役割と機能を整理し実行力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)アンケートなどの結果で効果がみられたか。課題改善に結びつけられたか。 (2)コミュニティ・スクールが機能的に働き生徒の活動支援などに結びついたか。 					